Hitachi Koki

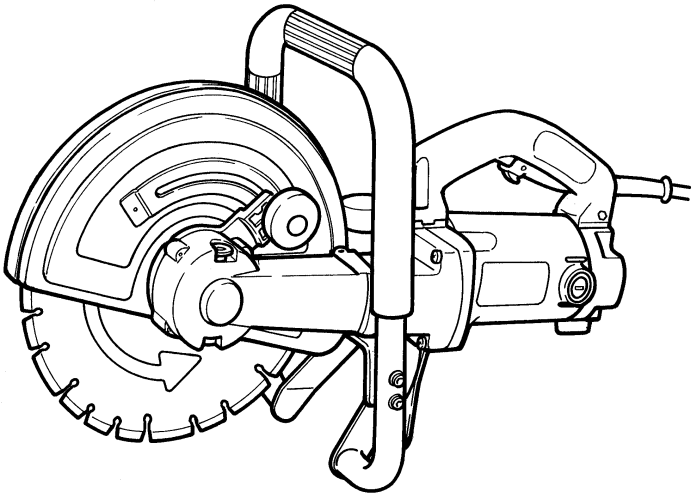
日立カッタ

CM 12Y〔先端工具別売〕

取扱説明書

このたびは日立カッタをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁



HITACHI

――― 目　次 ―――

ページ

電動工具の安全上のご注意 ・・・

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では,耳栓,イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

⊡ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“⊡”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組み立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにご用命ください。

カッタの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，カッタとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① 使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

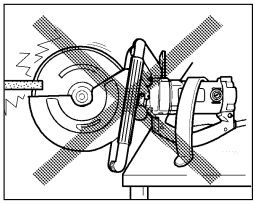
② 作業する箇所に，電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを，作業前に十分確かめてください。
埋設物があると，ダイヤモンドカッターや切断トイシが触れ，感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり，事故の原因になります。

③ ホイルガードは，必ず取り付けて使用してください。
ダイヤモンドカッターや切断トイシが破損したとき，けがの原因になります。

④ 水，研削液などは使用しないでください。
乾式用のため，切断トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

⑤ ダイヤモンドカッターで金属の切断をしないでください。
金属を切断すると，過熱して寿命を著しく短くし，また破損し，けがの原因になります。

⑥



⑥ 本体を金具などで保持した使い方はしないでください。
ダイヤモンドカッターや切断トイシが破壊したとき，けがの原因になります。

⑦ 使用中は，振り回されないよう本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと，けがの原因になります。

⑧ 使用中は，ダイヤモンドカッターや切断トイシの回転部，切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

⑨ 切断途中で，ダイヤモンドカッターや切断トイシを回転させたまま本体を戻さないでください。その場合，スイッチを切り，回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
強い反発力が生じ，けがの原因になります。

⚠ 警　告

⑩ **回転させたまま，台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

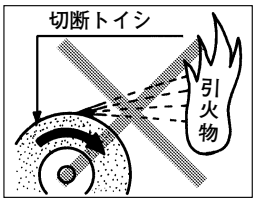
⑪ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑫ **誤って落としたり，ぶつけたときは，切断トイシや機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑬ **切断トイシを使用するときは，使用前に，必ず切断トイシにヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
異常があると，切断トイシが破壊し，けがの原因になります。

⑭ **金属用切断トイシで切断時に，研削粉は火花となって飛散するので，引火しやすいもの，傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また，研削火花を直接手足などに当たらないようにしてください。**
火災ややけどの原因になります。

⑭



⑮ **使用する切断トイシは，最高使用周速度 63.3 m／s｛3,800 m／min｝以上の正規の切断トイシを取り付け，正しい使用面で研削してください。側面や上面では研削しないでください。**
正規以外の切断トイシを使用したり，また側面や上面で研削すると，切断トイシが破壊し，けがの原因になります。
（切断トイシ寸法は 15 ページの「切断トイシの取付け・取りはずし」をご参照ください。）

⑯ **〔事業者の方へ〕切断トイシの取り替え・試運転は，法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。**
関連法令　労働安全衛生規則　第 36 条
労働安全特別教育規程　第 1 条，第 2 条

⚠ 注　意

① ダイヤモンドカッターや切断トイシ，付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② ダイヤモンドカッターや切断トイシにヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
ダイヤモンドカッターや切断トイシが破損し，けがの原因になります。

③ 使用中は，軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ，けがの原因になります。

④ 作業前に，人のいない方向にダイヤモンドカッターや切断トイシを向けて空転させ，機体の振動，ダイヤモンドカッターや切断トイシの面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があると，けがの原因になります。

⑤ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
強い反発力が生じ，けがの原因になります。

⑥ 切断しようとする材料の前方に手を置いたり，コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
手を切ったり，コードを切断し，感電の恐れがあります。

⑦ 回転するダイヤモンドカッターや切断トイシで，コードを切断しないよう注意してください。
感電の恐れがあります。

⑧ 新しい切断トイシを取り付け，はじめてスイッチを入れるときは，切断トイシの露出部から一時身体を避けてください。
切断トイシが破壊したとき，けがの原因になります。

⑨ 切断トイシの場合，試運転を励行してください。
試運転時間は，12 ページの「7．切断トイシの場合，試運転を行なう」の項をご参照ください。
試運転せずに作業開始すると，思わぬけがの原因になります。

⑩ 高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。また，コードを引っかけたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

各部の名称

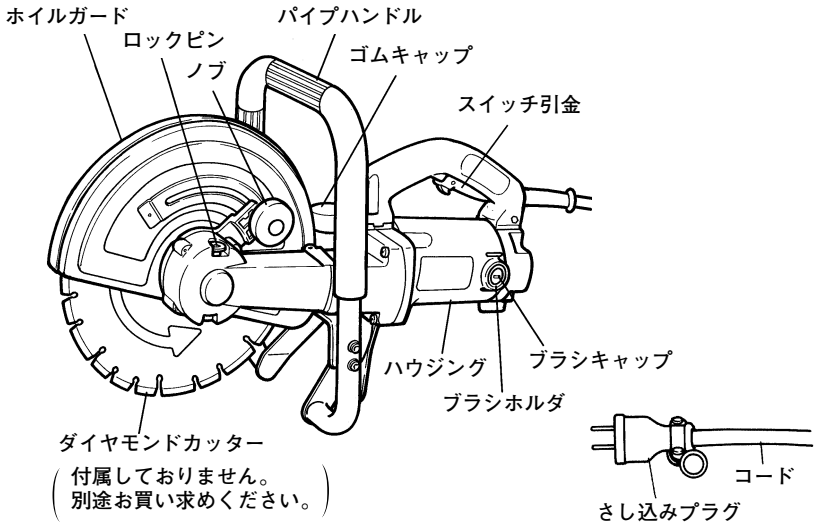


図 1－1

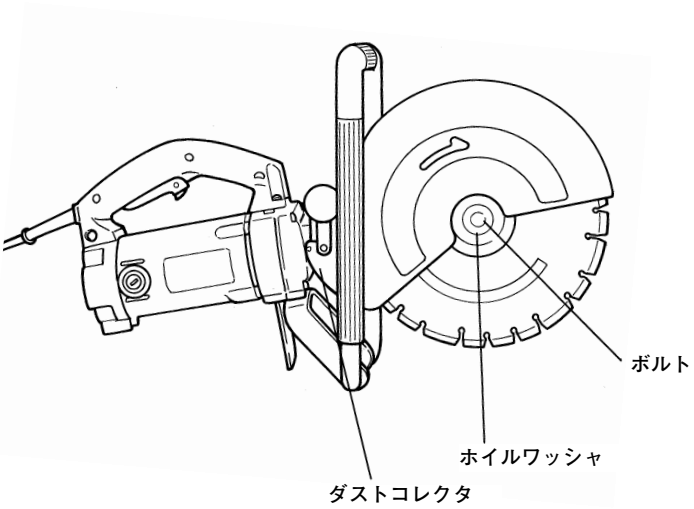


図 1－2

仕　　様

使　用　電　源	単相交流 50／60 Hz　共用　　電圧 100 V
ダイヤモンドカッター寸法	外径 305 mm　穴径 25.4 mm（穴径 20mmも取付可能）
切断トイシ寸法	外径 305 mm　穴径 25.4 mm
最大切込み深さ	ダイヤモンドカッター／切断トイシ　外径 305 mm のとき 100 mm
無負荷回転数	3700 min^{-1} {3700 回／分}
全負荷電流	15 A
消　費　電　力	1430 W
モ　ー　タ　ー	単相直巻整流子モーター（ソフトスタート機能付き）
質　　量	11.5 kg（コードを除く）
コ　　ー　　ド	2心キャブタイヤケーブル 2.5m

標準付属品

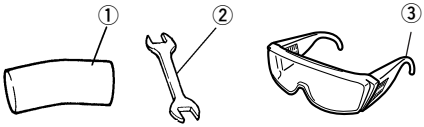


図　2

① 集じんホース……1個
② 両口スパナ……1個
③ 保護メガネ……1個

別売部品

……（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

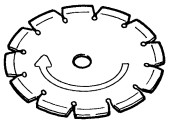


図　3

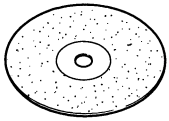


図　4

図　5

1．ダイヤモンドカッター（乾式用）

形　状	寸法（mm）		
	外径	厚さ	穴径
セグメント	305	1.8	30.5
セグメント（低騒音）	305	2	30.5
波形セグメント	311	1.8	25.4
特殊（ダクタイル鋳鉄管用）	305	1.7	25.4

2．切断トイシ（外径 305 mm）

切断トイシは金属用と石工用の2種類あります。

3．電動工具用集じん機

本製品は，電動工具用集じん機に接続して使用することができますので，お買い求めの販売店にご相談ください。

なお，ホースの取付け方は，13 ページをご参照ください。

用　　途

用　　途	使用する別売部品
コンクリート，各種石材の切断・すじつけ	ダイヤモンドカッター（乾式用） 石工用切断トイシ
各種鋼材の切断	金属用切断トイシ

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認……

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ(延長)コード……

⚠ 警　告

• 継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。下の表は，本機に継ぐことのできるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
2　mm^2	15 m
3.5 mm^2	30 m

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

• ご使用前に次のことを確認してください。1～5項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。

また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金(図1－1参照)を引くと入り，離すと切れます。

スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．ダイヤモンドカッターや切断トイシの確認および取付け……

ダイヤモンドカッターや切断トイシは正規のものか，またヒビ，割れ，曲りなどがないか十分お調べください。ダイヤモンドカッターや切断トイシは正規の状態に取付けられ，十分締付けられているか点検してください。ダイヤモンドカッターや切断トイシの取付けは13ページの「ダイヤモンドカッターの取付け・取りはずし」および15ページの「切断トイシの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

4．ロックピンの確認……

ロックピン(図1－1参照)を押して，離したとき，確実に戻ることを確認してください。

5．ホイルガード固定用ノブの締付けを確かめる……

⚠ 警　告

• ホイルガード固定用ノブが十分締まっていることを確認してください。ゆるんでいると，けがの原因になります。

6．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと，過熱して事故の原因になります。

7．切断トイシの場合，試運転を行なう……

⚠ 警　告

- **切断トイシにヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると，切断トイシが破壊し，けがの原因になります。**

⚠ 注　意

- **本機のスイッチを入れるときは，本機の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると，切断トイシが破壊することがあり，けがの原因になります。**
- **新しい切断トイシを取付け，はじめてスイッチを入れるときは，切断トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。**

作業前に人のいない方向に切断トイシを向け，必ず試運転を行なって異常がないことを確認してください。

試運転時間は

切断トイシ交換のとき ＿＿＿＿＿ 3分間以上

その日の作業始めのとき ＿＿＿＿＿ 1分間以上です。

集じんホースの取付け

集じんして作業する場合には，次のようにしてください。

(1) ゴムキャップをはずして，ダストコレクタに，付属の集じんホースを取付けます。(図6)

(2) ホースを集じんホースに取付けて，電動工具用集じん機(別売品)で集じんしてください。(図7)

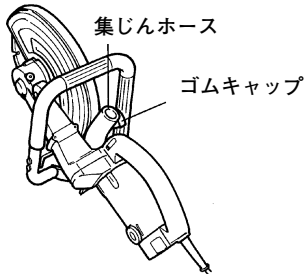


図 6

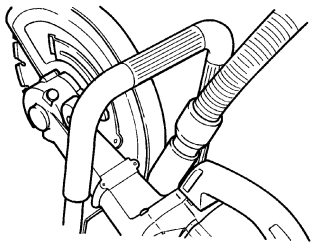


図 7

⚠ 警 告

- **金属を切断する場合は，集じん機は使用しないでください。切断時の火花により，集じん機が焼損する原因になります。**
- **集じん機を使用しないときは，必ずダストコレクタにゴムキャップを取付けてください。ダストコレクタから粉じんや火花が排出されるため，けがの原因になります。**

ダイヤモンドカッターの取付け・取りはずし…… 別売部品

⚠ 警 告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．取付け方……

⚠ 警 告

- **付属の両口スパナ以外の工具を使って，ボルトの着脱をすると，締め過ぎや締め付け不足になり，けがの原因になります。**

(1) スピンドルやワッシャに付着した切りくずをよくふき取ります。
(2) ダイヤモンドカッターの回転方向とホイールガードに示した回転方向を一致させ，図８－１，図８－２，図８－３のように取付けます。
・穴径25.4㎜，30.5㎜の場合は，ホイルワッシャ(A)(金色)を内側にします。
・穴径20㎜の場合は，ホイルワッシャ(C)(黒色)を内側にします。
(3) ロックピンを押してスピンドルを固定し，ボルト(左ネジ)を付属の両口スパナで十分に締付けます。(図９，図10)

注 • **ボルトは切断中にゆるまないよう逆ねじ（左ねじ）となっています。締付けるときは反時計方向，ゆるめるときは時計方向に回してください。**

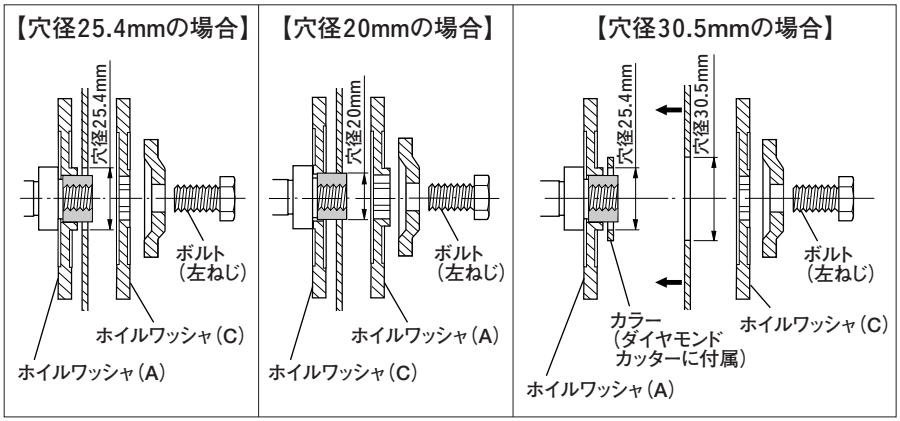


図 ８－１　　図 ８－２　　図 ８－３

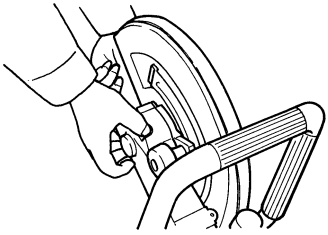


図　９

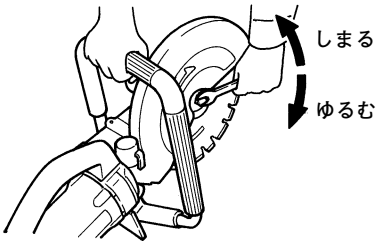


図　10

２．取りはずし方……

取りはずし方は，上記の取付け方と逆手順で行なってください。

切断トイシの取付け・取りはずし …… 別売部品

13ページのダイヤモンドカッターの取付け，取りはずしと同じです。

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**
- **必ず下記の正規の切断トイシをご使用ください。**

外 径	厚 さ	穴 径	周　速	補強(クロス)
305 mm	2.8 mm	25.4 mm	63.3 m／s {3,800 m／min}以上	補強あり

正規以外の切断トイシを使用すると，機械に悪影響を及ぼすばかりでなく思わぬ事故をまねくことがありますから絶対に使用しないでください。

- **切断トイシにヒビ，割れなど異常がないことを確認してください。**

切　り　方

⚠ 警　告

- **使用前に，必ずダイヤモンドカッターを点検してください。ヒビ，割れ，曲りがある場合は使用しないでください。**
- **ダイヤモンドカッターはセグメントタイプ(乾式用)を使用すると同時に，水や研削液などをかけて使用しないでください。**
- **使用中にダイヤモンドカッターが止まったり，異音を発したときなどには，直ちにスイッチを切ってください。**
- **ジグザグ切断，曲線切り，側面使用，傾斜切断などには使用しないでください。**
- **切断中に本機をこじったり，強く押しすぎると反発力を受け，けがの原因になります。まっすぐに静かに進めるようにしてください。**
- **切断トイシを横向きにした使い方は，けがの原因になります。このような使い方はしないでください。**
- **保護メガネを使用してください。**
- **作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠ 注　意

- **回転するダイヤモンドカッターや切断トイシでコードを切断しないよう注意してください。**

注 • **切断を始める前にダイヤモンドカッターの回転が全速回転になるようにしてください。**
• **回転中には，ロックピンを押さないでください。また，ロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。**

1．ホイールガードの調整……

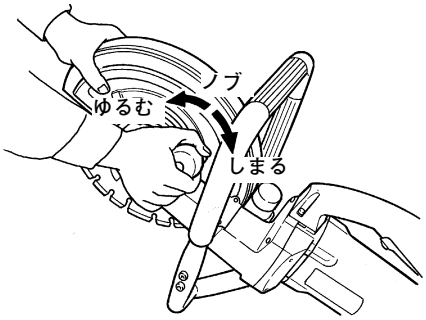


図　11

切断作業中に切断している材料の破片や火花が作業者の足に当たらないように，ホイールガードの角度をノブで調整してください。（図 11）

2．切断の仕方……

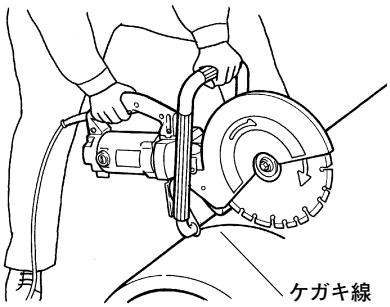


図　12

(1) 切断する材料の上に本体をのせ，ケガキ線とダイヤモンドカッターを合せます。最初の切込みでケガキ線に合せてまっすぐに切断するのがスムーズに作業するコツです。
(2) ダイヤモンドカッターが切断する材料に触れない状態でスイッチを入れます。
(3) パイプハンドルの下部を切断する材料につけて，それを支点とすると垂直に切断することができます。

本機は重心が，ダイヤモンドカッターの切断線上および前後のハンドル握り部の真下に位置する構造となっています。このため，無理に押付けなくても，機体の重量を利用して楽に切断することができます。

注 • **切断途中で無理にケガキ線に合せようとすると，モーターに無理がかかり，焼損の原因になるばかりでなく，ダイヤモンドカッターが発熱し，寿命が短くなる原因になります。**
• **切込み深さが 50㎜をこえる深さのときは，2～3 回に分けて切込んでください。**
• **コンクリート・タイル・石材などの切断は，1 回の切込み深さを 50㎜以下にしてご使用ください。50㎜をこえる切込み深さで使用すると，モーターに無理をかけ，焼損の原因になります。**

保守・点検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．ダイヤモンドカッターの点検……

摩耗したダイヤモンドカッターをご使用になっておりますと切れ味が悪くなりモーターに無理をかけることになります。また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2．カーボンブラシの点検……

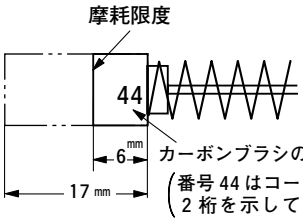


図　13

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（6 mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は，必ず図示の番号（44）の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法　カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図１－１参照）をはずしますと取り出せます。

3．各部取付けネジの点検……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。使用後は，モーターを無負荷回転させてモーター内部に風を送りますと，内部のごみやほこりの排出に効果があります。**

5．表面のよごれ清掃……

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は，かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○ お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○ 軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○ 温度が急変する場所
- ○ 直射日光の当たる場所
- ○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒004-0053	札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号	☎(011) 896-1740(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
関東支店	〒110-0016	東京都台東区台東四丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）	☎(03) 5812-6331(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒663-8243	西宮市津門大箇町10番20号	☎(0798) 37-2665(代)
中国支店	〒730-0826	広島市中区南吉島二丁目3番7号	☎(082) 504-8282(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町一丁目28番14号	☎(087) 863-6761(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

● **電動工具ご相談窓口** ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00 ～ 午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

005
部品コード　C99072701　N